

農政建設

農林水産業に関する経済施策や道路の建設・管理、ガス・上下水道事業などインフラ整備に関する議案等を審査しています。

鳥獣被害対策 どのように推進？

注目!

■令和元年度一般会計歳入歳出決算認定



地域と連携し、農地周辺に箱わなを設置

問／人口減少と高齢化が進む中、鳥獣被害対策はどこに重点を置いて推進していくのか。
答／「効果的かつ効率的な捕獲活動」「電気柵による被害防止」「有害鳥獣が出没しにくい環境づくり」という3つの柱を同等に取り組んでいきたいと考えている。今年度からは上越市鳥獣被害対策実施隊を組織化し、地域と連携して体制を強化しているところである。



日帰り温浴施設 ろばた館

問／ろばた館の営業努力の結果から、施設の再配置について見直す考えはないか。
答／近隣にうみてらす名立やくわどり湯ったり村があり、温浴施設としては廃止の方向で検討している。適正な維持管理や利用促進に努めているが、市全体の公の施設の在り方を考える必要があり、関係課と連携しながら再配置を進めていきたい。

**ろばた館
再配置の見直しは？**

■令和元年度一般会計歳入歳出決算認定

問／南本町3丁目の景観まちづくり活動を他の地域にも広げていくとあるが、具体的な方策はあるのか。また、ガイドライン等があれば示してほしい。

答／南本町3丁目における景観まちづくり活動は、高校生と連携した雁木の塗装や格子を設置する修景活動や雁木のまちなみに合う照明を検証する照明体験ワークショップの実施、フリーペーパーの発行、景観色彩ガイドラインの検討など、様々な活動を行っています。

**景観まちづくり活動
他の地域への広がりは？**



上越総合技術高等学校の生徒と住民が連携し、雁木の塗装などを行う修景活動を行っています。

答／活動経過などをまとめ、取組の経過やノウハウを他地域に広げていきたいと考えており、新たに取組んでいただけたらと探していきたい。また、南本町3丁目では独自に色彩ガイドラインを作成している。他の地域でも地元と共同で作成しながら進めていきたい。